

北っ子 敷島北小学校だより

令和8年1月23日 文責 学校長 増坪広夫

3学期スタート 1年の計は元旦にあり

3学期がスタートしました。始業式では代表の児童が今年がんばりたいことを発表していましたが、今年も昨年以上に豊かな一年となることを心から願っています。本年もよろしくお願いいたします。



新しい年明けというのは、新しい目標に向かうエネルギーをもらえたようで心があらたまるというか、人を前向きな気持ちにさせてくれます。「1年の計は元旦にあり」とはいいですが「今年こそ〇〇をできるようにしたい」とか「〇〇に挑戦しよう」など、何か意欲的な気持ちにかき立てられる時期でもあります。子供たちにも「ああなりたいなあ」という想いを強く持ってもらいたいと思います。新年に描いた想いが、すべての子供たちの成長につながることを期待しています。

すべてうまくいく午年 人間万事塞翁が馬

今年の干支は午年（うまどし）です。午は十二支のなかでは7番目に数えられ、時刻でいえば午前11時から午後1時までの2時間を指し、方角では南にあたります。十二支のなかでも、午は成長や成功・繁栄のシンボルとして縁起がよいものとされています。また、今年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」です。干支は甲乙で始まる十干（じっかん）と十二支の組み合わせで全部で60通りですが、その43番目になります。そして丙は十干の3番目で、植物の成長にたとえると「芽が成長し、葉が広がり、成長が著しい状態」を意味するそうです。

中学校で習う故事成語に「人間万事塞翁が馬（にんげんばんじさいおうがうま）」があります。昔、中国の塞翁という人が飼っていた馬が逃げたため、まわりの人が慰めに行くと塞翁は「このことが幸いを呼ぶかもしれない」とまったく悲しむ様子を見せませんでした。その後、逃げた馬が別の立派な馬を伴って戻ってきたということです。

午年(うまどし) 
うまくいく年です
まえを向いて走り出そう
どきどきワクワクを胸に
しあわせになろう！

人の幸・不幸を予測することはできません。今年を充実した1年にするために、目の前の出来事に一喜一憂するのではなく、前を向いて「うまくいく」と信じるからこそ大切なような気がします。

誰でも最初は初心者 スキー教室

1月16日（金）に5・6年生のスキー教室が実施されました。天候にも恵まれ春スキーのような穏やかな日差しの中でスキー実技を体験しました。最近では実施しない学校も増えているようですが、今までやったことのないことに挑戦することや、できなかったことができるようになった達成感を味わうことは、これからの生活で「やればできる」という大きな自信につながっていく貴重な体験だと思います。



私が好きなWANIMAの「やってみよう」の曲には、こんな歌詞があります

正しいより楽しい 正しいより面白い やりたかったこと やってみよう 失敗も思い出 ♪
はじめよう やってみよう 誰でも最初は初心者なんだから やったことないことも やってみよう

「口」から「^{プラス}言葉」がでると夢は「叶う」

3学期の始業式でこんな話をしました。諸説あると思いますが校長の話の一部抜粋します。

「一年の計は元旦にあり」といいますが、みなさんはどんな願い事を言葉にしたでしょうか
言葉に関係する漢字には「口」が入ります。

ちなみに「吐く」という漢字は「口」に「+」と「-」と書きます

みなさんの話す言葉には「+言葉（いい言葉）」と「-言葉（わるい言葉）」の2種類に分けられます

「+言葉」…「がんばってるね」「ありがとう」「手伝おうか」「いっしょにやろうよ」

「-言葉」…「めんどくさい」「うざい」「しね」「無理だ」「できっこない」「ばかじゃないの」

皆さんが「吐く」言葉から「-言葉」を無くすとどうなるでしょうか

「叶う」になります 「夢が叶う」「願いが叶う」のです



「言葉には言霊がやどる」ともいいますが「+言葉」がたくさんいえるといいですね

ただ「苦しいとき」や「悩んでいるとき」など「辛い」ときは「-言葉」がでてきてしまいます
そんなときは1人で悩まず、友だちや家族、先生などまわりの人に相談するなど頼ってください

「辛い」という漢字に「-」をくわえると「辛い」が「幸せ」に変わります



苦しいときはグチってもいいのです。悩みや心の痛みは吐き出すと楽になれます

どうぞまわりの人に相談してください いつでも家族や仲間、先生たちは皆さんの味方です

悩み事は1人で抱え込まず相談を

新聞などマスコミでも報道されましたが、厚生労働省によると昨年の自殺者数は全体では減少しているものの小中校生については1980年以降では過去最多となっているとのことです。最近ではSNSでのいじめや暴力動画の拡散、誹謗中傷など大きな社会問題となっています。特にSNSなどの問題は身近な人に相談しにくいこともあるのでSOSが出しやすい環境が必要になります。厚生労働省でも専門の相談員に相談することを勧めています。ホームページに外部相談窓口が掲載されていたので紹介します。

◆いのち SOS（特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク）

0120-061-338(日～火、金は24時間対応、水、木、土は午前6時～深夜0時)

◆よりそいホットライン（一般社団法人 社会的包摂サポートセンター）

0120-279-338（24時間対応）

◆いのちの電話（一般社団法人 日本いのちの電話連盟）

0120-783-556（午後4時～午後9時、毎月10日は午前8時～翌日午前9時）

0570-783-556（午前10時～午後10時）

◆チャイルドライン（特定非営利活動法人 NPO 法人 チャイルドライン支援センター）

0120-99-7777（毎日 午後4時から午後9時）

◆24時間子供 SOS ダイアル（文部科学省）

0120-0-78310（24時間対応）

◆子ども人権110番

0120-007-110（平日午前8時30分から午後5時15分）